

□趣旨

アンテナの RE01 として、都市の研究・ワークショップを 2011 年 2 月から 4 月まで、企画運営しました。本ワークショップは「都市を研究」することに焦点をあてた、実践型研究の実施に加え、全国各地から先進的なアプローチを試みるゲストをお招きし、隔週でレクチャーをして頂くことで、都市に対するアプローチの方法を模索しました。

都市の時代と呼ばれる現代では、都市を研究することの価値は、正確に地域の課題や状況を把握し、改善方策や状況を可視化することに留まりません。研究の手法を用いて、都市の価値創出に繋げ、都市のブランディングやプロモーションを実施している事例まで見受けられます。そのように多様化する研究の価値の中で、今回は「都市をみる解像度」に着目し、受講生の各自が選んだ風景を徹底的に研究しました。

特に、今回は風景を構成する「素材」まで選んで、風景を読み解くリテラシーを高め、それを編集することで、風景の異なる価値を再評価することの可能性を積極的に見出すことを試みました。このような個人によって発見された価値の集積こそ、都市の活力の原動力となり、都市の魅力を見出すことができる人材の育成に繋がることを期待しました。

□概要

ワークショップ形式による中心市街地の研究・ワークショップと全国各地からのゲストによる公開レクチャーによる人材育成

□参加人数

研究生 20 名、ゲストスピーカー 12 名

<研究生>

- 岡本和幸（静岡産業大学 2 年）
- 岡本彩花（静岡文化芸術大学 1 年）
- 細井悠平（静岡文化芸術大学 1 年）
- 佐藤麻奈美（静岡文化芸術大学 1 年）
- 河井扶美（静岡文化芸術大学 1 年）
- 小山翔生（静岡文化芸術大学 1 年）
- 松永奈緒（静岡文化芸術大学 1 年）
- 宇井麻理奈（静岡文化芸術大学 1 年）
- 杉山亜美（静岡文化芸術大学 1 年）
- 鈴木康義（静岡文化芸術大学 1 年）
- 辻雄介（静岡文化芸術大学 1 年）
- 鈴木知悠（静岡文化芸術大学 2 年）
- 鈴木陽一郎（静岡文化芸術大学 2 年）
- 藤田隆永（静岡文化芸術大学 2 年）
- 永井浩敏（静岡文化芸術大学 3 年）

齋藤直洋（静岡文化芸術大学 4年）

植野聡子（静岡文化芸術大学修士 2年）

青木健（Y-GSA 卒、PLAY 建築都市人間研究所主宰）

竹下奈津紀（中部大学大学院卒）

小林すみれ（オランダにてグラフィックデザイナーとして活動中）

□企画協力

浜松まちなかにぎわい協議会、マチノバ

□実施スケジュール

募集開始 1/20

募集締め切り 2/3

企画開始 2/7

□会場

マチノバ(静岡県浜松市中区田町 327-24 万年橋パークビル7階)、静岡銀行アゴラ浜松、浜松信用金庫板屋町支店

□カリキュラム

[実施日程]

2011年2月から毎週4日間

◇都市の風景を構成する材料に着目した、リサーチ・ワークショップ

①フィールドワーク、②写真撮影、③線画化、④構成材の切り出し、⑤素材名・材料概要、
価格・施工方法調査、⑥編集、⑦プレゼンテーション



◇隔週で行われるレクチャーとディスカッション

RE01 『マテリアル・コンサンプション×都市の現象学』実施報告書 2012.03

第1回 「現象」の建築家たち（京都）

ゲスト：RAD(川勝真一+榊原充大)

日時：2011年2月11日(金) 18:00-20:30

会場：浜松信用金庫板屋町支店講義室

聴講者：35名

第2回 時間の現象、都市空間の更新(金沢、東東京)

ゲスト：亀井聡(東工大大学院)・田所雄大(403 architecture・東大新領域)

日時：2011年2月18日(金)18:00-20:30

会場：浜松信用金庫板屋町支店講義室

聴講者：30名

第3回 地方都市の現象、その役割(広島)

ゲスト：佐々木高之(アラキササキアーキテクツ)+小川文象(FUTURE STUDIO)

日時：2011年2月25日(金)18:00-20:30

会場：浜松信用金庫板屋町支店講義室

聴講者：35名

第4回 システムの現象（東京、神奈川）

ゲスト：吉村靖孝(吉村靖孝建築設計事務所主宰)

日時：2011年3月4日(金) 18:00-20:30

会場：浜松信用金庫板屋町支店講義室

聴講者：45名

第5回 ショッピングの現象、そして現在性について（茨城、浜松）

ゲスト：土岐文乃（筑波大学大学院博士課程）・山道拓人（g86・東工大大学院）

日時：2011年3月11日(金)18:00-20:30 ※震災のために延期後、実施。

会場：万年橋パークビル 7F(マチノバ/machinoba)

聴講者：35名

第6回 未来への現象（東京）

ゲスト：門脇耕三（首都大学東京助教）+古澤大輔、馬場（メジロスタジオ）

日時：2011年3月19日(土)13:00-15:30

会場：アゴラ浜松

聴講者：20名

都市の現象学

URBAN PHENOMENOLOGY

| 企画協力 | アンテナ マチノバ 浜松まちなかにぎわい協議会 SENA
 SENA Internship program 2010-11 RE(Reserch for Externalization): Urban intervention project 2011

第1回「現象」の建築家たち (京都)
RAD(川勝真一 + 榊原充大)
 日時：2011年2月11日(金) 18:00-20:30
 会場：浜松信用金庫浜原町支店講義室

第2回 時間の現象、都市空間の更新 (金沢、東京)
亀井聡 (東工大大学院)
 ×
田所雄大 (403 architecture・東大新領域)
 日時：2011年2月18日(金) 18:00-20:30
 会場：同上

第3回 地方都市の現象、その役割 (広島)
佐々木高之 (アラキササキアーキテクト)
 +
小川文象 (FUTURE STUDIO)
 日時：2011年2月25日(金) 18:00-20:30
 会場：同上

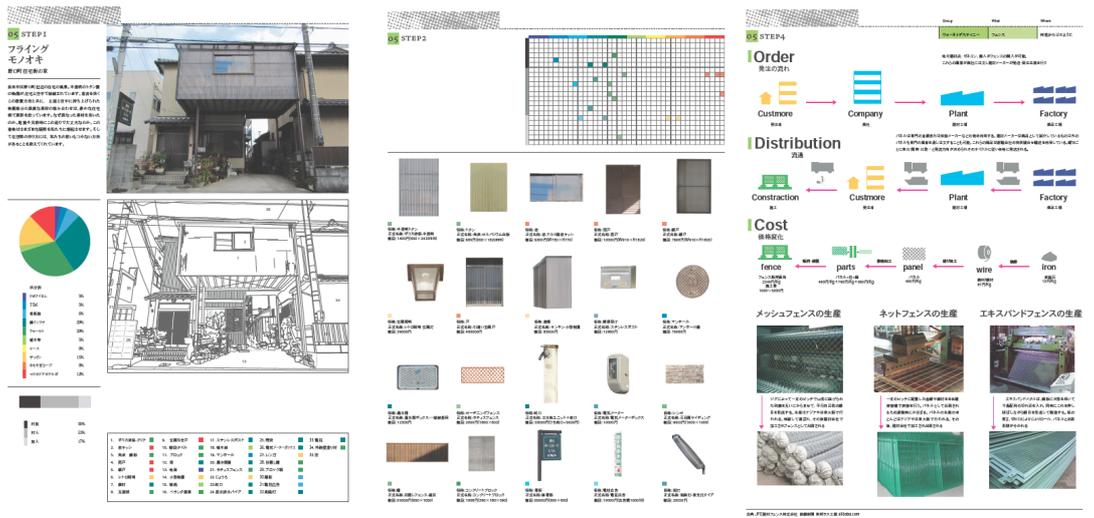
第4回 システムの現象 (東京)
吉村靖孝 (吉村靖孝建築設計事務所主宰)
 日時：2011年3月4日(金) 18:00-20:30
 会場：同上

第5回 未来への現象 (西東京)
門脇耕三 (首都大学東京助教)
 ×
古澤大輔 + 馬場兼伸 (メジロスタジオ)
 日時：2011年3月19日(土) 13:00-15:30
 会場：静岡銀行浜松支店新館(アコア浜松)

第6回 ショッピングの現象、そして現在性について (茨城、郊外)
土岐文乃 (筑波大学大学院博士課程)
 ×
山道拓人 (g86・東工大大学院)
 日時：2011年3月11日(金) 18:00-20:30
 会場：万年ビル7F(マチノバ)

最終成果物

リサーチ成果を研修生各自がブックレットにして制作した。それらをまとめてマップを制作することで、それまでには意識されることの無かった場所を繋ぎ合わせ、ウォーキングルートをつくる事ができた。今回のワークショップを通じ、受講生がヴィジュアルライゼーションの基本的な技能を習得したことに加え、都市の風景を読み取るリテラシーを高めたことは今後の地域活性化に繋がる人材を育成する事ができたといえる。



研修生によるリサーチ成果の一部